

令和元年度第2回総合教育会議資料

Society 5.0(超スマート社会)における 学校教育の方向性について

- 1 Society 5.0の到来
- 2 これからの学校教育に求められるもの
- 3 本市のICT利活用の方向性

1 Society 5.0の到来

狩猟社会 ⇨ 農耕社会 ⇨ 工業社会 ⇨ 情報社会

⇨ **Society 5.0(超スマート社会)へ**



1 Society 5.0の到来

フィジカル（現実）空間から**センサー**と**IoT**を通じてあらゆる情報が集積（**ビッグデータ**）
人工知能（AI）がビッグデータを解析し、高付加価値を**現実空間**に**フィードバック**

これまでの情報社会(4.0)



[内閣府作成]

Society 5.0



1 Society 5.0の到来

Society5.0時代の到来

求められる能力

- 飛躍的な知の発見・創造など新たな社会を牽引する能力
- 読解力、計算力や数学的思考力などの基礎的な学力

社会構造の変革

- 人間一人一人の活動に関するデータ（リアルデータ）活用による革新的サービス
- ビッグデータ・人工知能(AI)の発達による新たなビジネスの拡大

雇用環境の変革

- 単純労働を中心に、人工知能(AI)やロボティクスの発展による影響
- 人間は、創造性・協調性が必要な業務や非定形な業務を担う

一方で・・・

子供たちの多様化

- 他の子供たちとの学習が困難
- ASD、LDなどの発達障害
- 日本語指導が必要
- 特異な才能を持つ など

2 これからの学校教育に求められるもの

多様な子ども達を

**「誰一人取り残すことない、
公正に個別最適化された学び」の実現**

各教科の本質的理解を通じた
基盤となる資質・能力の育成




協働学習・学び合いによる
課題解決・価値創造

日本人としての
社会性・文化的価値観の醸成

学校・教師の役割

ICTを基盤とした先端技術
教育ビッグデータの活用


2 これからの学校教育に求められるもの

| 省庁 | 動向 |
|---|---|
|  文部科学省 | 「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策」を公表 校内無線LAN整備に375億円の予算要求 |
|  経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry | AIや動画等のデジタル技術を活用。「未来の教室ビジョン」を 発表 |
|  総務省 Ministry of Internal Affairs and Communications | 「校務系システム」と「学習系システム」の安全かつ効率的な 情報連携方法を実証 |

政府は、経済対策で2023年度までに、小中学生が
1人1台パソコンを使えるようにすることを発表

暮らしに関わる主な事業

教育のIT化



小中生1人1台PC

2023年度までに小中学校で1人1台のパソコンを使えるようにする

教室の高速大容量のネット環境構築

社会の急速なデジタル化に対応し、2023年度までに小中学校の全学年で1人1台パソコンなどの端末がいきわたるようにする。

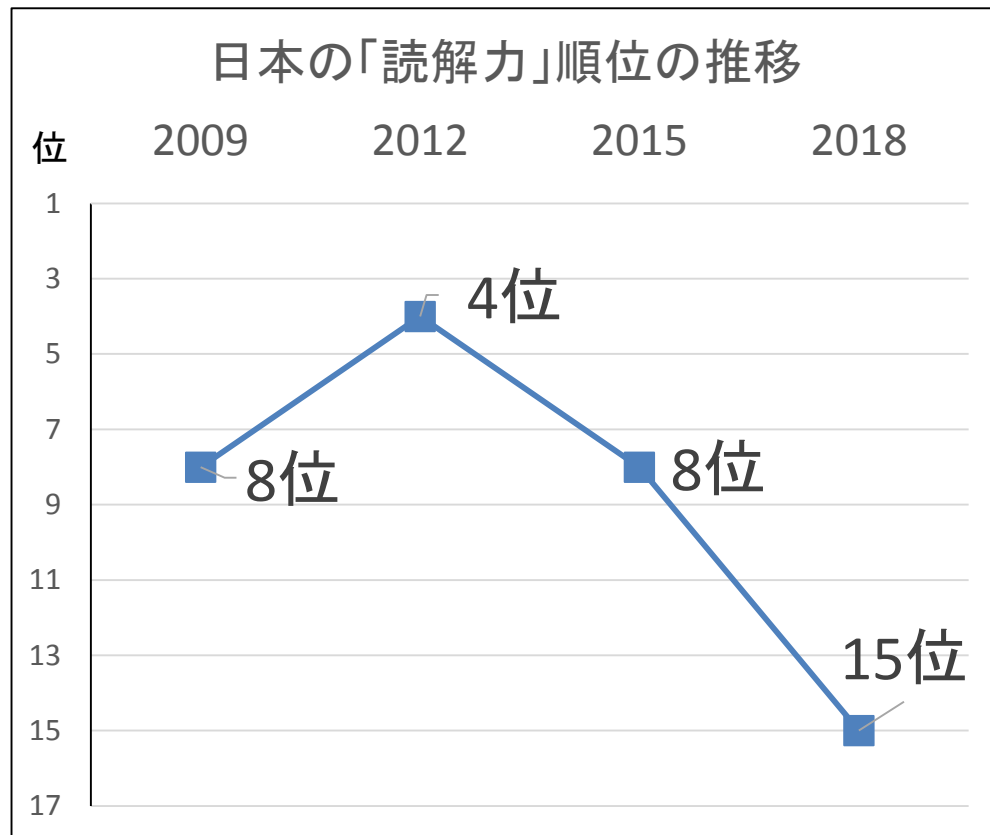
令和元年12月6日 宮崎日日新聞より

2 これからの学校教育に求められるもの



2 これからの学校教育に求められるもの

<学力の現状 学習到達度調査 PISA>



OECD(経済協力開発機構)が、義務教育修了段階の15歳児を対象に、3年ごとに読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3分野で実施。

左の図は、全参加国・地域(79か国・地域)における順位の推移。

【読解力の定義】

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むこと。

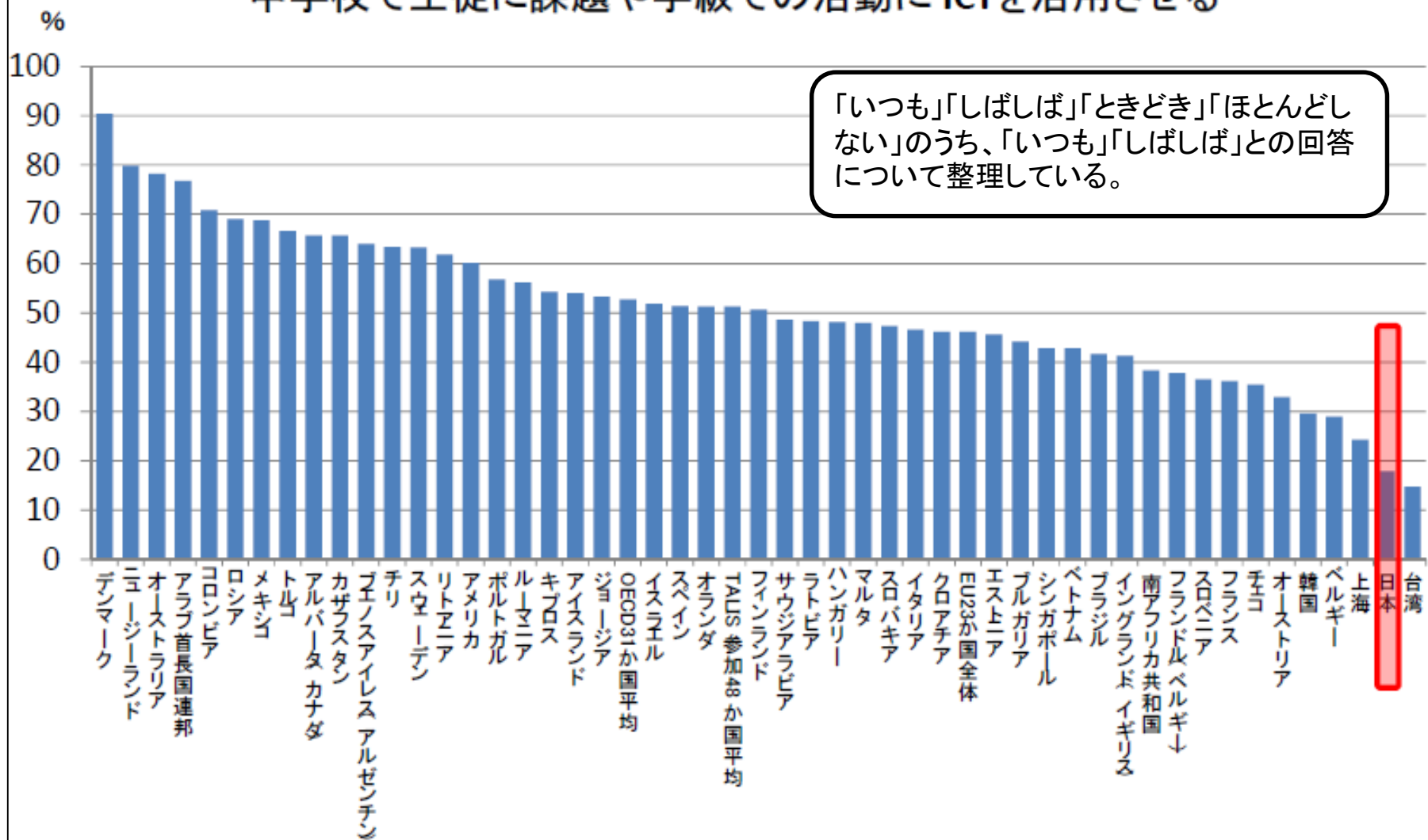
◆2015年調査より、コンピュータ使用型調査に移行

操作例

- 長文の課題文をスクロールして読む
- キーボードで解答入力(ローマ字入力)
- 複数の画面で課題文を提示(Webリンクのクリックやタブの切替えで他画面に移動)
- マウスによる解答選択、ドラッグ&ドロップ操作で画面上の選択肢を動かして解答

2 これからの学校教育に求められるもの

中学校で生徒に課題や学級での活動にICTを活用させる

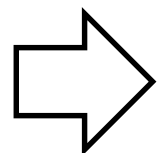


出典 教員環境の国際比較：OECD国際教員指導環境調査（TALIS）2018報告書をもとに作成

3 本市のICT利活用の方向性

平成30年度に小中学校モデル校8校にタブレットPC及び無線LAN環境を整備。協働学習における利活用を研究

(南小、沖水小、中霧島小、西岳小、姫城中、志和池中、西中、笛水小中で検証)



学習意欲の向上、学習内容の確実な定着

児童生徒1人1台に向け、個別学習における利活用も視野に入れる。

3 本市のICT利活用の方向性

都城デジタル化推進宣言との整合性

【情報の蓄積・活用】

児童生徒の学習履歴をクラウドで管理。経年変化を確認することで、1人1人に最適化した指導が実現！

【教育環境の効率化】

統合型校務支援システムを活用。教師の働き方改革が進み、児童生徒に向き合う時間の確保とより質の高い教育が実現！

3 本市のICT利活用の方向性

課題1 ICT環境整備

| 項目 | 国の目標 2018年 | 国の目標 2019年12月 | 国の現状 | 本市の現状 |
|-------------------|---------------|-------------------|---------|---------|
| 教育用コンピュータ | 3人に1台 | 2023年までに 1人に1台 | 5.4人に1台 | 5.5人に1台 |
| 普通教室の 無線LAN | 100% | | 40.7% | 29.9% |
| 普通教室の大型 提示装置整備 | 100% | | 51.2% | 100% |
| 統合型校務支 援システム | 100% | | 57.2% | 0% |
| ICT支援員 | 4校に1人 | | データなし | 0人 |

3 本市のICT利活用の方向性

課題2 教職員の研修

○平成30年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査での、
 教職員質問紙の肯定的な回答の割合

| 項目 | 国 | 本市 |
|-------------------------------|-------|-------|
| 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力 | 86.2% | 84.6% |
| 授業にICTを活用して指導する能力 | 69.7% | 64.2% |
| 児童生徒のICT活用を指導する能力 | 70.2% | 63.2% |
| 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力 | 80.5% | 75.2% |

→ 教職員が活用しやすい環境整備及び効果的な活用の在り方に関する研修が必要！！

3 本市のICT利活用の方向性

今後の展開

国は、各省庁が予算化を行うなど、小中学校における学習用コンピュータの「1人1台」配置を目標に、学校ICTの環境整備を強力に推進



ICTを活用した効果的・効率的な授業や、教職員自身がICTを使いこなすための研修などの取組を計画的に実施することで、子どもたちの情報活用能力を高め、ひいては学力向上に繋げたい。